

2019年度 決算説明資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2020年4月24日

証券コード
6210

新型コロナウイルスに関して

国内外において、新型コロナウイルスの感染拡大が続いております。

当社グループとしましては、今般の新型コロナウイルス感染症については、安定的に事業運営を継続していくための対策を講じることが最重要課題のひとつと捉えております。

現時点では、当社グループの従業員に感染者は発生しておりませんが、政府より出されました緊急事態宣言の内容を踏まえ、企業の社会的な責務として、社内で「新型コロナウイルス対策本部」を設置し、全従業員への引き続きの注意喚起と健康状態の確認を進め、社内外への感染拡大防止に努めるとともに、政府要請および管轄の自治体や保健所等との連携のもと適切な事業運営および情報開示に取り組んでまいります。

目次

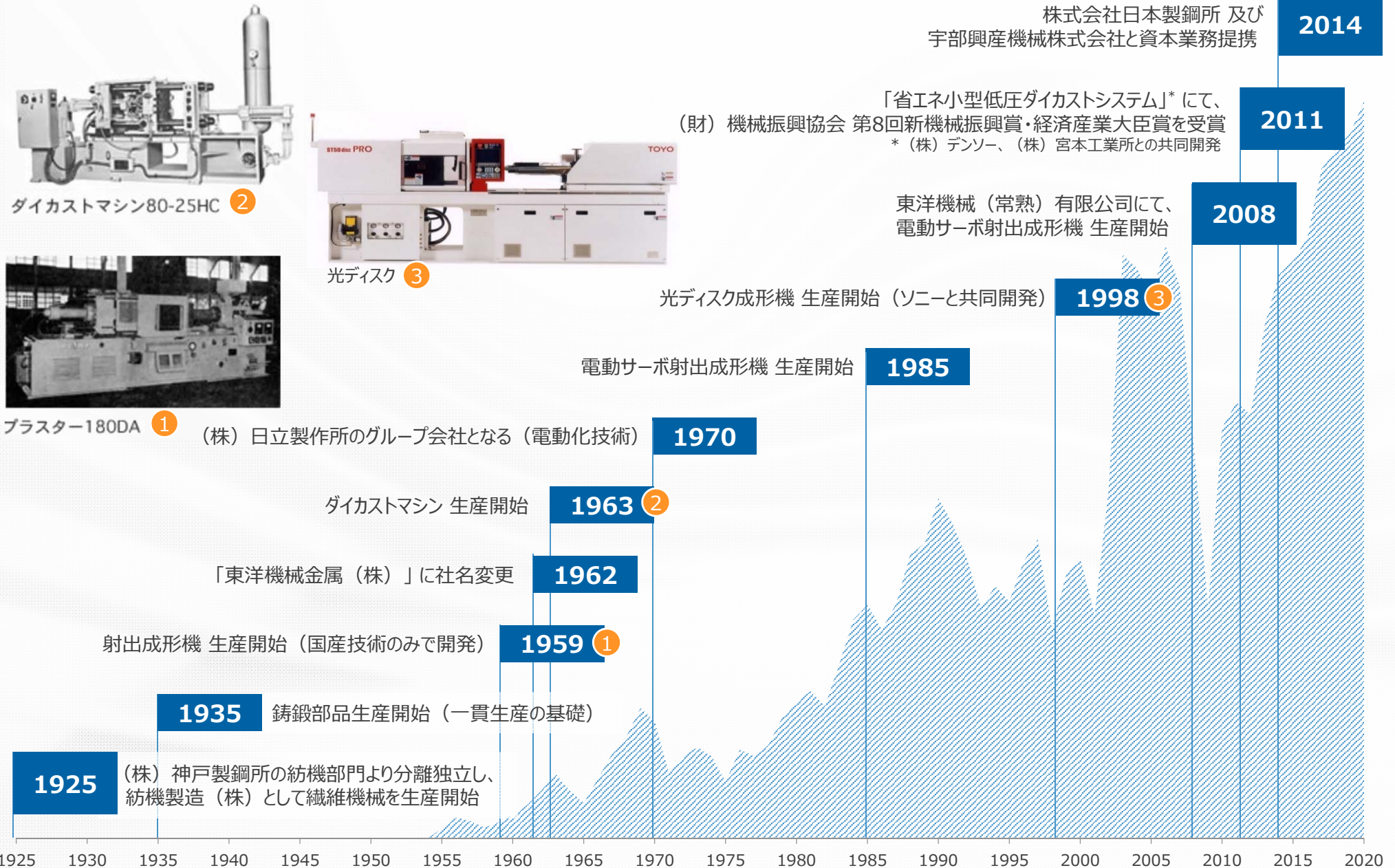
1. 会社概要	3
2. 2019年度 業績概要	6
3. 2020年度 業績予想	14
4. SDGsへの貢献	23
5. <Appendix>	25

会社概要

会社概要

商号	東洋機械金属株式会社 TOYO MACHINERY & METAL CO.,LTD.
創業	1925（大正14）年5月16日
資本金	25億円（東証第一部）
代表者	代表取締役社長 田畑 禎章（Tabata Yoshiaki）
従業員数	762名（2020年3月連結）
営業品目	プラスチック射出成形機・関連商品 ダイカストマシン及び周辺自動機・関連商品
本社・工場	兵庫県明石市二見町福里523-1
URL	http://www.toyo-mm.co.jp/

会社沿革



2019年度 業績概要

2019年度 経営成績

自動車関連の需要が減速し、受注高は20%減少
売上高は4%減少、営業利益・経常利益・最終利益は30%台減少

項目 (単位：百万円)	2018年度 実績	2019年度 実績	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	2019年度 修正計画	計画比
受注高	31,079	24,794	△6,285	△20.2%	26,000	△1,206
売上高	31,780	30,453	△1,327	△4.2%	30,900	△447
営業利益	2,054	1,426	△628	△30.6%	1,550	△124
営業利益率	6.5%	4.7%	△1.8P	—	5.0%	△0.3P
経常利益	2,137	1,438	△699	△32.7%	1,520	△82
親会社株主に帰 属する四半期純 利益	1,344	883	△461	△34.3%	930	△47
1株当たり 当期純利益	71.30円	43.20円	△28.10円	—	45.55円	△2.35
<参考> 為替レ- (USD)	111円	109円	△2円	—	108円	+1円

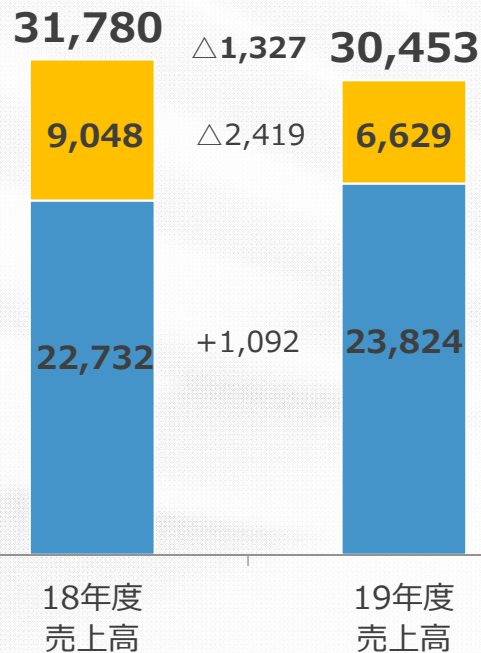
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は、射出成型機は伸長、ダイカストマシンは減少
 営業利益は、売上・生産台数減少に伴う操業度の低下により減少

売上高

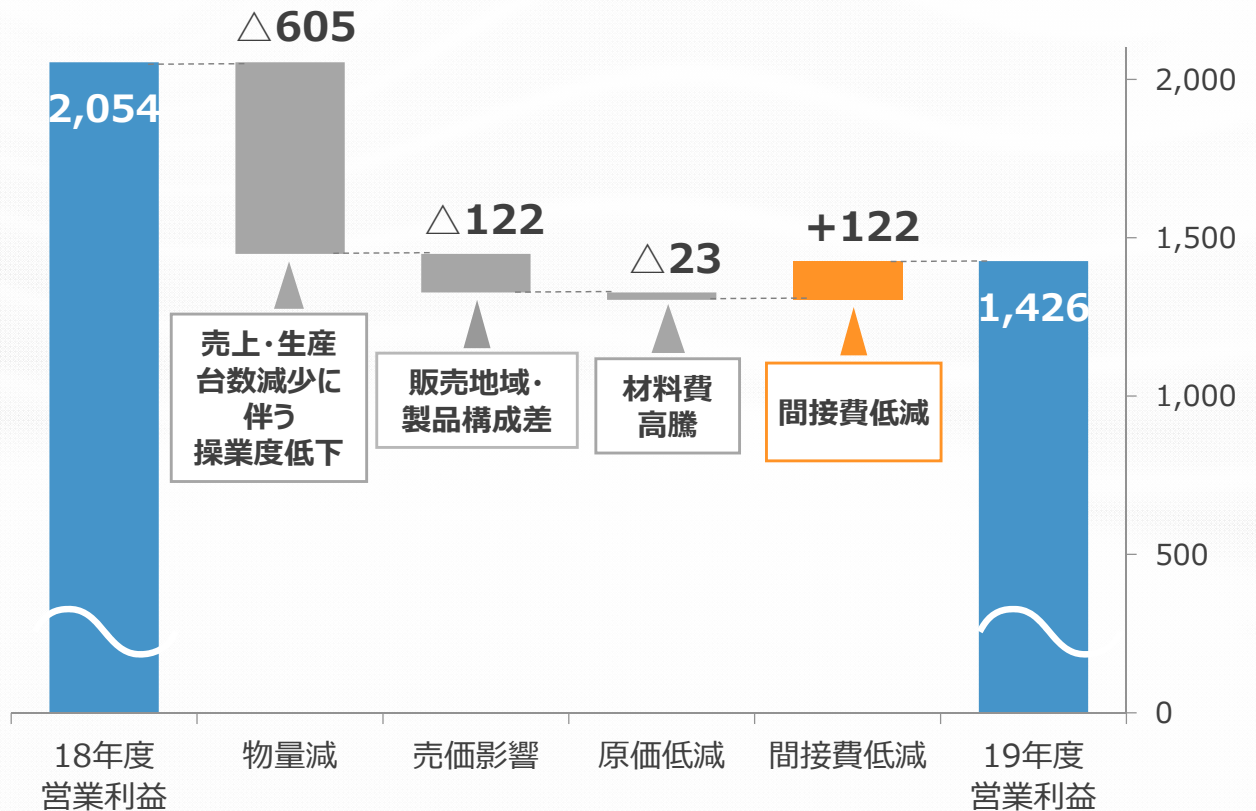
(単位：百万円)

- 射出成型機
- ダイカストマシン



営業利益増減要因分析

(単位：百万円)



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は248億円（前期比△63億円）、受注残高は56億円（前期比△57億円）

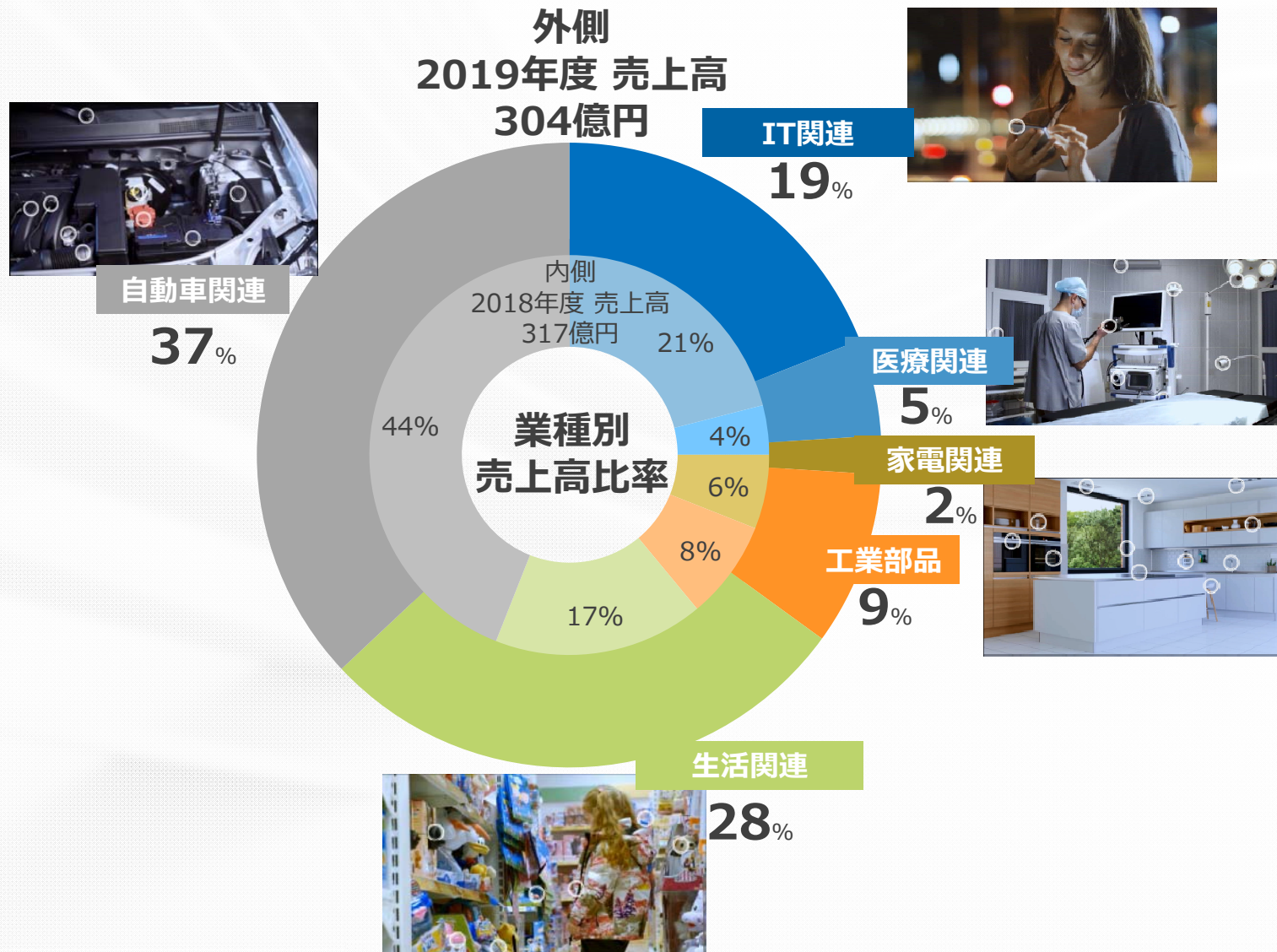
射出成形機 (単位:百万円)	2018年度 実績	構成比	2019年度 実績	構成比	増減	増減率
受注高	22,013	71%	19,479	79%	△2,534	△11.5%
(内、海外)	(13,923)	(63%)	(13,184)	(68%)	(△739)	△5.3%
売上高	22,732	72%	23,824	78%	+1,092	+4.8%
(内、海外)	(14,853)	(65%)	(15,820)	(66%)	(+967)	+6.5%
受注残高	8,434	75%	4,088	73%	△4,346	△51.5%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2018年度 実績	構成比	2019年度 実績	構成比	増減	増減率
受注高	9,066	29%	5,315	21%	△3,751	△41.4%
(内、海外)	(6,327)	(70%)	(2,773)	(52%)	(△3,554)	△56.2%
売上高	9,048	28%	6,629	22%	△2,419	△26.7%
(内、海外)	(6,002)	(66%)	(3,812)	(58%)	(△2,190)	△36.5%
受注残高	2,793	25%	1,479	27%	△1,314	△47.0%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

生活関連向けの射出成形機が増加し、
売上高構成比28%まで上昇



【自動車関連】

国内及び中国、アジア向けの射出成形機、ダイカストマシン共に減少

【IT関連】

中国のローカルスマートフォン向けの小型射出成形機が減少。

【生活関連】

欧州、米州向けの中大型射出成形機が増加。

【工業製品】

国内・アジア向けの小型射出成形機が増加。

【家電関連】

中国向けの小型射出成形機が減少。

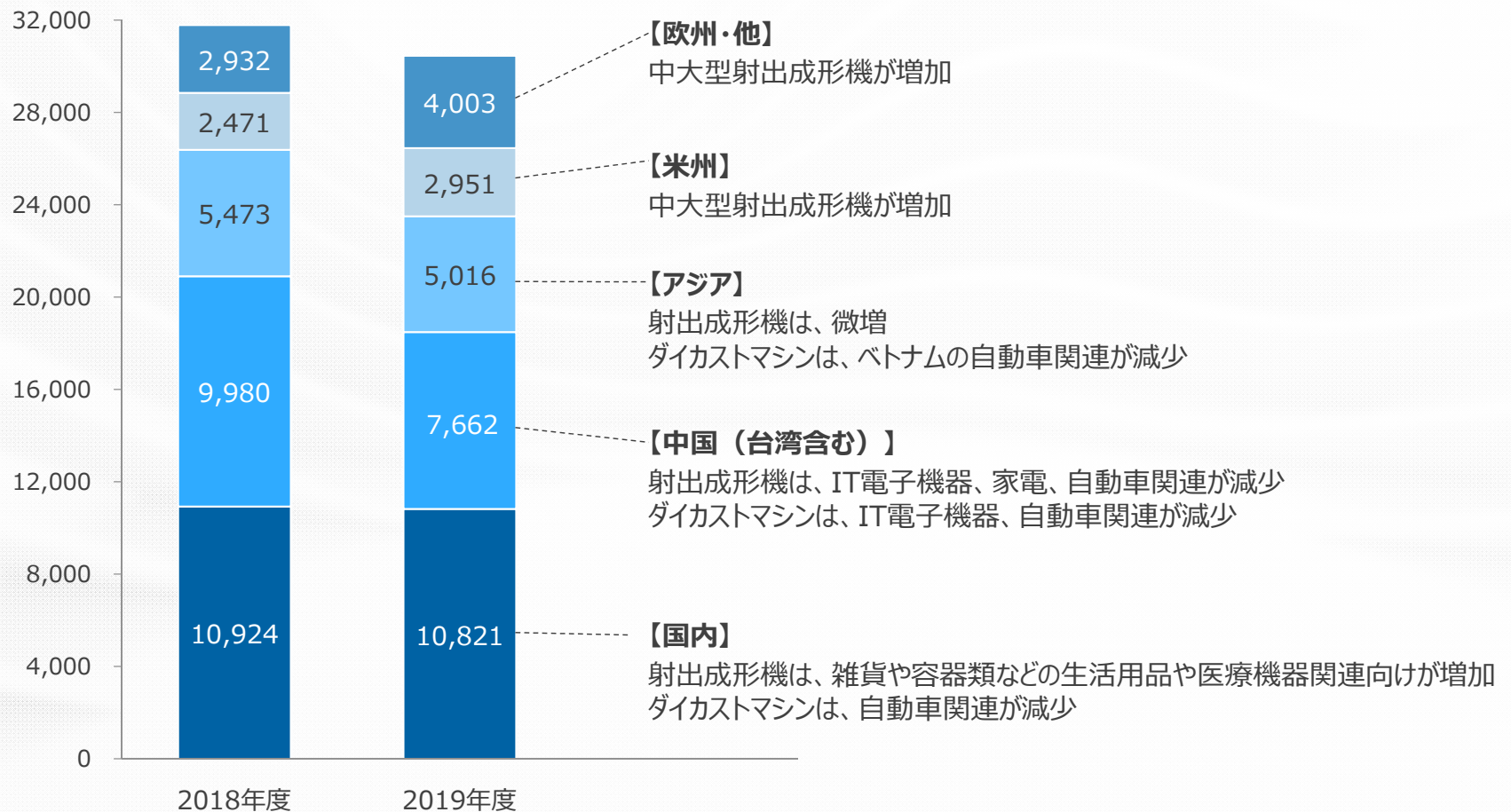
【医療関連】

国内、中国向けの小型射出成形機が増加。

地域別売上高の動向

米州、欧州・他向けは増加したが、中国、アジア向けが減少

地域別売上高推移 (単位:百万円)



主要取引先との関係強化と設備投資資金の調達

第三者割当による自己株式処分

払 込 期 日	2019年4月17日（水）		
処分する株式の種類及び数	普通株式 1,700,000株		
処 分 価 額	1株につき603円		
調 達 資 金 の 額	1,025,100,000円		
処 分 先	株式会社マルカ	アメリカとアジアに23拠点、60年以上の海外取引を活かした国際ネットワークを有する商社	600,000株
	株式会社山善	生産財・住設建材・家庭機器の3つの事業領域における専門商社	600,000株
	第一実業株式会社	製造・販売・サービス一帯のソリューション力を活かし、多様化するニーズに先行して応え続ける専門商社	400,000株
	安田工業株式会社	世界最高峰の超高精度の工作機械の開発に取り組んでいる。当社製品に搭載する主要部品の切削・研磨を行っている。	100,000株
そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく届け出の効力発生を条件としております。		

欧州代理店との資本提携による関係強化

欧州代理店の株式を取得

取 得 日	2019年7月4日（木）
取得した株式の会社名	GM-Injection AG（100%子会社は、TOYO europe srl 20/1社名変更）
取得した株式の数	154株（発行済株式の30.2%）
取 得 価 額	4,530,000EUR（551百万円）
株式を取得した理由	TOYO europeは、イタリアを中心に欧州全域に成形機の販売で強い立場を確保しており、また技術スタッフが数十年にわたり成形機ビジネスに係わってきたことから、高い技術力を持っています。当社とTOYO europeとは2007年に電動射出成形機の欧州での独占販売契約を締結し、イタリア以外にもポーランドやスペインなどにも販売網を広げ、現在までに当社の射出成形機を累計1,000台以上（直近3年間で500台以上）販売しています。今後、技術面でも交流を深め、欧州への販売を拡大。



調印式 スイス・チューリッヒにて



容器類などが成形できる
欧州で最も販売実績のある
Si-450-6S

2020年度 業績予想

2020年度 業績予想

2020年度も設備投資需要は減少すると見込まれる
営業利益は、売上物量減少及び生産操業度の低下により、マイナスとなる見込み

項目 (単位：百万円)	2019年度 実績	2020年度 予想	当期比 増減	当期比 増減率
受注高	24,794	25,300	+506	+2.0%
売上高	30,453	23,300	△7,153	△23.5%
営業利益	1,426	△370	△1,796	—
営業利益率	4.7%	△1.6%	△6.3P	—
経常利益	1,438	△370	△1,808	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	883	△580	△1,463	—
1株当たり 当期純利益	43.20円	△28.35円	△71.55円	—
<参考> 為替レート(USD)	109円	105円	△4円	△3.7%

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は253億円（当期比+5億円）、売上高は233億円（当期比△71億円）
受注残高は75億円（当期比+20億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2019年度 実績	構成比	2020年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	19,479	79%	19,300	76%	△179	△0.9%
(内、海外)	(13,184)	(68%)	(14,100)	(73%)	+916	+6.9%
売上高	23,824	78%	17,700	76%	△6,124	△25.7%
(内、海外)	(15,820)	(66%)	(12,500)	(71%)	△3,320	△21.0%
受注残高	4,088	73%	5,689	75%	+1,601	+39.2%

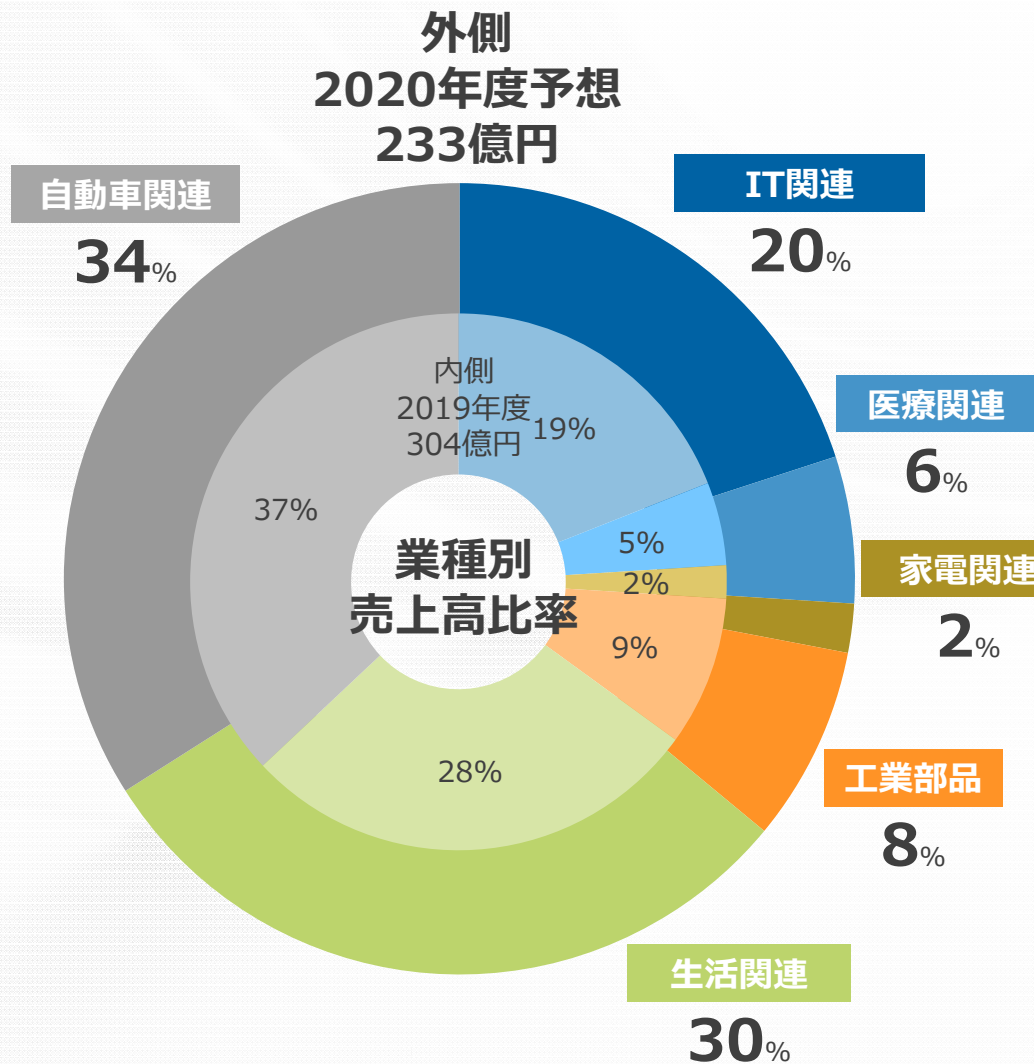
ダイカストマシン (単位:百万円)	2019年度 実績	構成比	2020年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	5,315	21%	6,000	24%	+685	+12.9%
(内、海外)	(2,773)	(52%)	(3,500)	(58%)	+727	+26.2%
売上高	6,629	22%	5,600	24%	△1,029	△15.5%
(内、海外)	(3,812)	(58%)	(3,300)	(59%)	△512	△13.4%
受注残高	1,479	27%	1,879	25%	+400	+27.0%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別・地域別 売上高予想

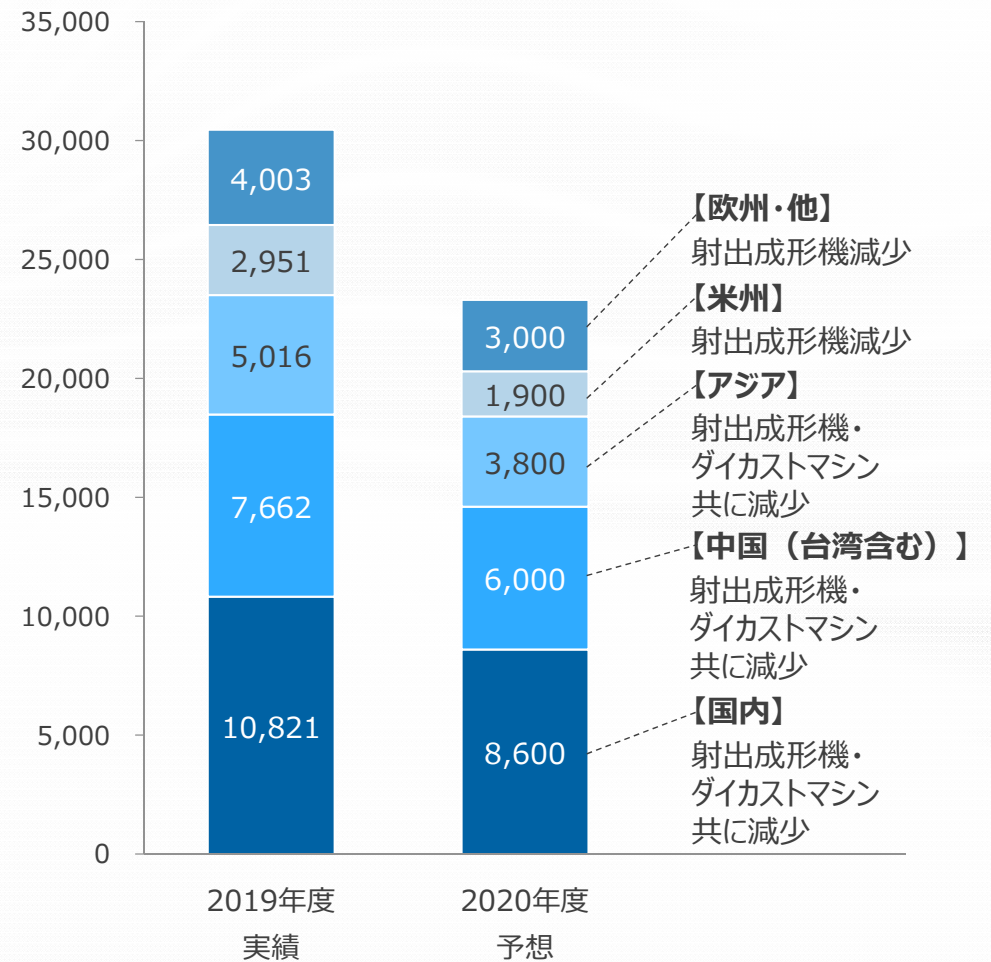
業種別では自動車関連向けが減少する見込み

業種別売上高構成予想



地域別売上高予想

(単位:百万円)



創業100周年（2025年）に向けた企業像

VISION

顧客に役立つモノづくりを行い、
事業を通じて社会の進歩発展に貢献する

成形機専門メーカーとして
業界や地域社会に対して存在感を示し、
信頼・期待される企業を目指す

射出成形機

ダイカストマシン

Customer's Value Up

中期経営計画

「TOYO Great Global Plan 2020」

独自技術開発

持続的发展

グローバル戦略の発展と
構造改革



顧客価値創造型製品群の
市場投入

注力業界と製品分野の動向

グローバル成長エリア・市場に注力し、技術対応を推進

ターゲット市場	顧客ニーズ	日本	中国	アジア	欧米	技術対応
情報端末 5G対応 通信インフラ	高精度・薄肉 5Gバックカバー対応 中継ボックス	○	◎	○		ハイレスポンス・射出圧縮
自動車 電動・自動運転 EV化対応	EV化（二次電池、 センサー、カメラ等）	◎	◎	○	○	顧客ニーズに対応するカスタマイズ提案
	軽量化・薄肉化 （内装部品）	◎	◎	○	○	物理発泡成形
	環境・省エネ・ 生産性向上	◎	◎	○	◎	電動式ダイカストマシン
食品・医療	クリーンな製造現場	◎	○		◎	電動機によるダウンサイジング
その他市場	成形品生産の歩留 まり向上	◎	○	○	◎	SAG+α II ガス抑制スクリー
	IoT対応	◎	◎	◎	◎	T-Station Lite Ver.2、T-Remote

課題と施策

米中貿易摩擦の影響により、成形機業界の需要は減少

課題

受注が減少している状況

生産量減少によるコスト高が懸念される

日本・明石工場

- ・需要は減少傾向
- ・生産に寄与する設備投資を優先し、継続的に実施

中国・常熟工場

- ・中国での地産地消をベースに拡大
- ・医療関連の需要は好調
- ・I T 関連の需要は5 G で動き始めている

受注の確保、シェア拡大

営業力の強化

- ・販社との連携強化で主要顧客への集中営業展開
- ・アジア新興国の需要開拓(自動車・生活用品・医療)
インド事務所を支店に格上げ、ベトナム現地法人事業開始(20/2)
インドネシア現地法人設立(21/3予定)

利益を確保

自社の強みを活かしながら、利益を確保

顧客ニーズに対応した開発型メーカー カスタマイズ対応型ビジネスでの利益創出

技術力の強化

- ・顧客との新規開発テーマの創出、大学との共同研究
- ・2021年度次世代機種デビューに向けた取り組み
P 開発プロジェクトチーム発足、射出成形機はIPF JAPAN 2020
ダイカストマシンは2020日本ダイカスト会議・展示会に出展予定

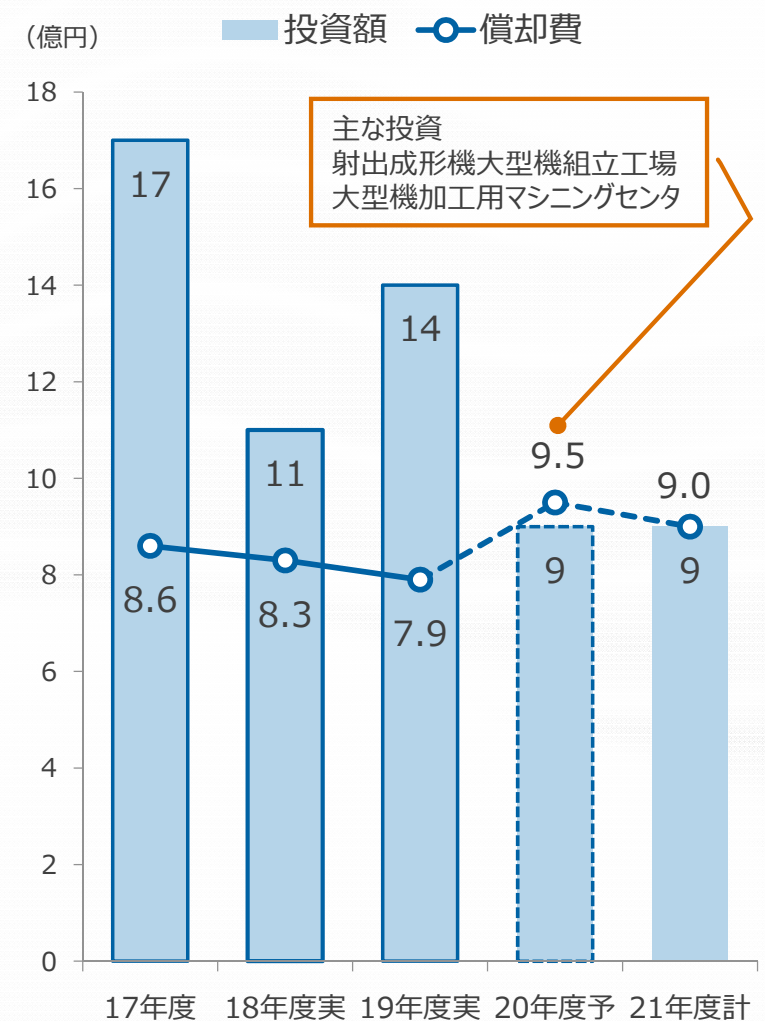
生産力の強化

- ・部材の共通化
- ・機構部品の汎用化
- ・産業ロボット活用拡大で自動化・省人化・ロボット化を推進
- ・射出成形機大型機組立工場、大型機加工用マシニングセンター完成稼働による大型機種の増産開始

設備投資・減価償却費

本社工場の生産設備を拡張

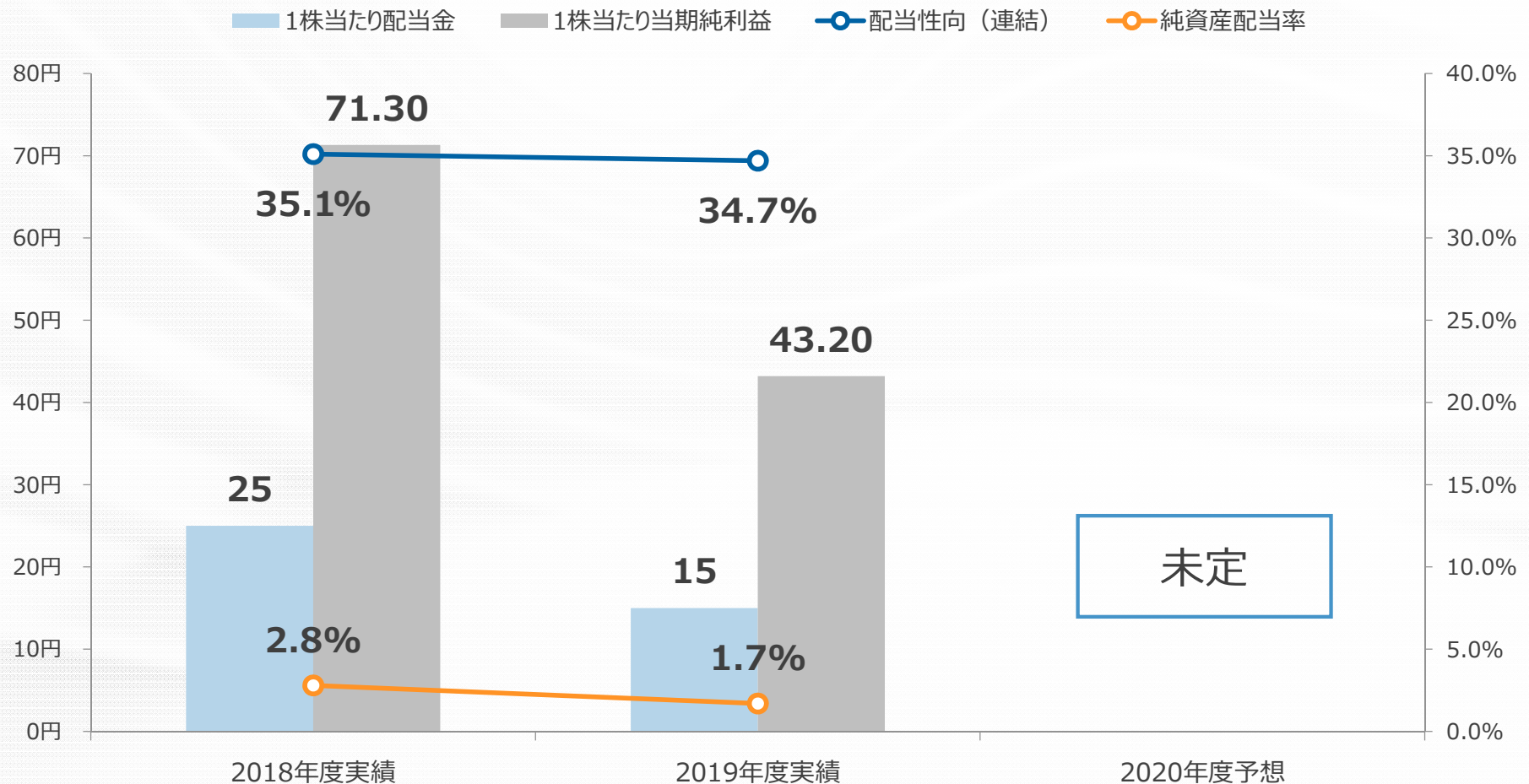
主な設備投資計画内容（2018年度～2021年度）	総投資額
建屋	25億円
中大型組立工場増設（1棟は20/6 完成予定）	
自動倉庫新築(素材、制御、中大型組立)（19/5完成）	
サービスセンター新築	
その他現有資産維持投資	
工作機械	12億円
自動加工 マシニングセンタ2台(1台は20/5完成予定) ターニングセンタ	
汎用加工 長尺NC旋盤（2018/11完成）	
製缶 複合外パン加工機（2019/2完成）	
システム	3億円
主な設備投資計画総額	40億円



株主還元について

2019年度は、1株につき年間15円の配当を実施
2020年度は、最終利益が赤字となる厳しい見通しのため、未定といたします

1株当たりの配当金・当期純利益、配当性向、純資産配当率



SDGsへの貢献

SDGsへの貢献

SDGsへの貢献に向けた活動を推進

ダイカストマシンの電動化

- 駆動オイルの使用削減
- クリーン対応
- 省エネ・環境対応



高効率射出成形機の開発

- 製品不良の削減
- 樹脂製品の薄肉化
- 電気自動車の普及貢献



ガバナンス体制の強化推進

- リスク管理の充実
- コンプライアンスの徹底



経営基盤の強靱化

- 労働生産性の向上
- 活気ある働きやすい職場作り
- ステークホルダーとの良好な関係を継続



Appendix

貸借対照表 (B/S)

資産の部 (単位:百万円)	2018年度 実績	2019年度 実績	増減	コメント
流動資産	21,030	19,061	△1,969	受取手形及び売掛金は2億円増加したものの、現金及び預金、棚卸資産の減少により、流動資産は19億円減少。
現金及び預金	5,613	5,054	△559	
受取手形及び売掛金	7,265	7,469	+204	
棚卸資産	6,644	5,641	△1,003	
固定資産	8,050	9,067	+1,017	GM-Injection AGの株式取得による投資有価証券の増加により、固定資産は10億円増加。
有形固定資産	6,544	6,825	+281	
無形固定資産	565	644	+79	
投資その他資産	940	1,597	+657	
資産合計	29,080	28,128	△952	

負債・純資産の部 (単位:百万円)	2018年度 実績	2019年度 実績	増減	コメント
負債合計	12,041	9,742	△2,299	買掛金等の仕入債務は15億円減少し、借入金 の返済が進み有利子負債残高が1億円減少 したこと等により、負債合計は22億円減少。
支払手形及び買掛金	5,530	3,993	△1,537	
有利子負債残高	1,300	1,200	△100	
純資産合計	17,038	18,386	+1,348	親会社株主に帰属する当期純利益の利益剰 余金や自己株式の処分による資本剰余金の増 加により、13億円が寄与。自己資本比率は前 期57.7%から64.3%。
負債純資産合計	29,080	28,128	△952	

キャッシュフローの増減

フリー・キャッシュフローは△9億円と前期比△28億円

(単位:百万円)	2018年度 実績	2019年度 実績	増減	変動要因
営業活動による キャッシュ・フロー	2,438	904	△1,534	仕入債務の減少等があったものの、たな卸資産の減少などにより、9億円の収入。
投資活動による キャッシュ・フロー	△601	△1,894	△1,293	自動倉庫や工作機械の取得、GM-Injection AGの株式取得により、支出が前期6億円から18億円へと増加。
財務活動による キャッシュ・フロー	△623	434	+1,057	自己株式処分による設備資金調達より4億円の収入。
現金及び現金同等 物に係る換算差額	△60	△2	58	
現金及び現金同等 物の増減額	1,152	△558	△1,710	前期のプラス11億円から今期は5億円のマイナス。
現金及び現金同等 物の期首残高	4,460	5,613	+1,153	
現金及び現金同等 物の期末残高	5,613	5,054	△559	50億円となり、前期から5億円の減少。

財務データ（時系列）

項目		2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
売上高	(百万円)	26,664	27,707	30,878	31,780	30,453
営業利益	(百万円)	1,800	1,823	2,057	2,054	1,426
経常利益	(百万円)	1,813	1,822	2,130	2,137	1,438
当期純利益	(百万円)	1,863	1,505	1,407	1,344	883
包括利益	(百万円)	1,735	1,361	1,552	1,297	798
売上高営業利益率		6.8%	6.6%	6.7%	6.5%	4.7%
売上高経常利益率		6.8%	6.6%	6.9%	6.7%	4.7%
売上高当期純利益率		7.0%	5.4%	4.6%	4.2%	2.9%
現金及び預金	(百万円)	5,027	5,319	4,460	5,613	5,054
借入金・社債	(百万円)	1,750	1,350	1,450	1,300	1,200
純資産額	(百万円)	13,934	14,976	16,152	17,038	18,447
総資産額	(百万円)	24,528	26,264	27,813	29,080	28,151
自己資本比率		56.1%	56.3%	57.3%	57.7%	64.3%
自己資本当期純利益率		13.93%	10.55%	9.17%	8.22%	5.06%
配当性向		16.26%	21.20%	33.40%	35.06%	34.72%
役員・従業員数		706人	705人	729人	749人	762人

製品別・地域別データ（時系列）

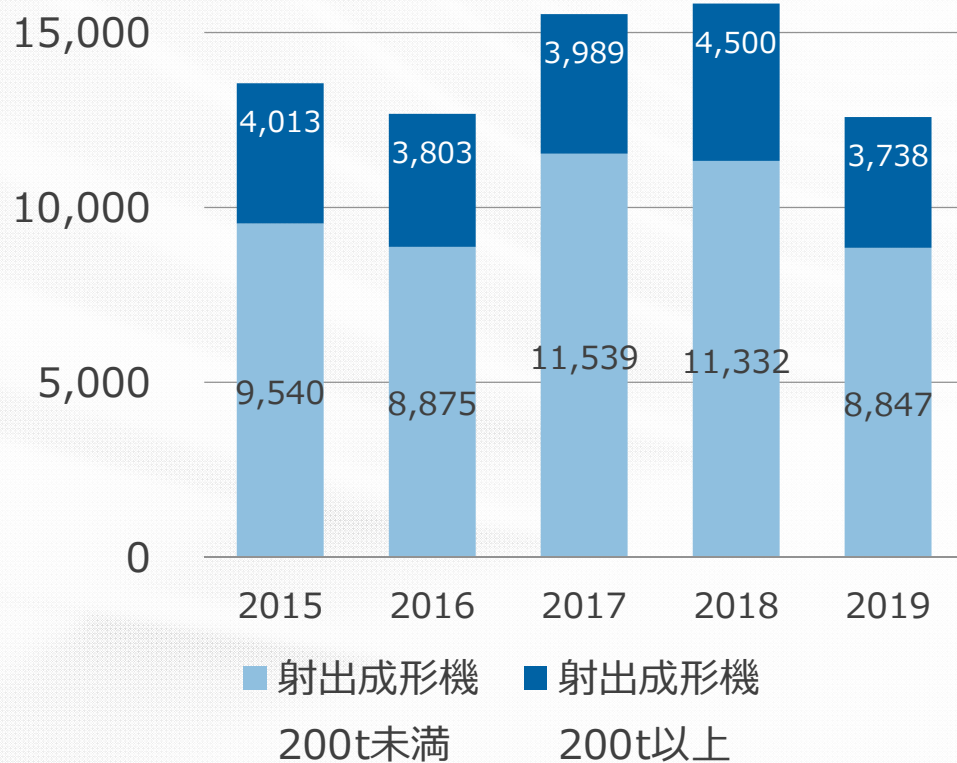
製品別売上高推移（百万円）	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
射出成形機	19,517	19,896	21,807	22,732	23,824
ダイカストマシン	7,147	7,811	9,070	9,048	6,629

地域別売上高推移（百万円）	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
国内	8,815	9,563	9,764	10,924	10,821
中国	6,927	7,017	9,894	9,980	7,662
アジア	4,789	4,856	4,845	5,473	5,016
米州	3,631	3,395	3,401	2,471	2,951
欧州	2,502	2,876	2,974	2,932	4,003

事業環境の概要

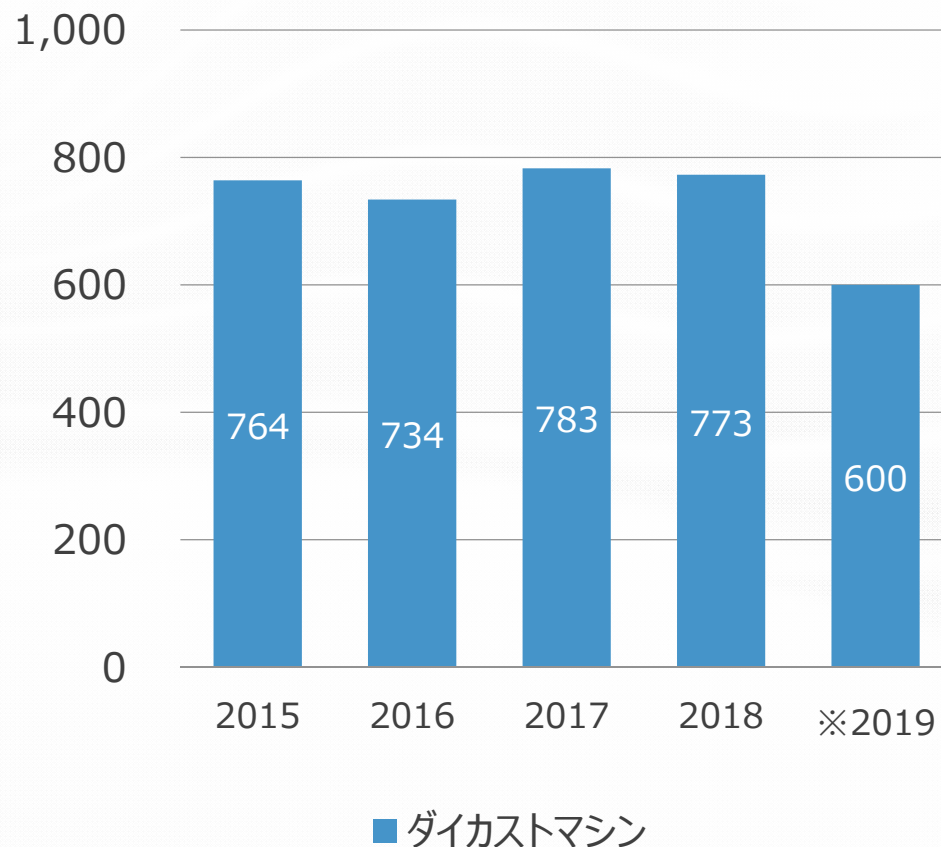
業界の射出成形機とダイカストマシンの出荷台数

射出成形機出荷台数



出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



出典：日本ダイカストマシン工業会
※2019は一部当社の予想となっています

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customer's Value Up

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室

TEL. (078) 942-2345 (代表)

FAX. (078) 943-7275

URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>